

安全・安心のニュースはどうつくれるか

2月8日 毎日新聞・小島正美

- ①不二家事件＝二の舞を認識したのは外部コンサルタント。
TBSは裏づけ不足で誤報に近い報道(悪いことを探せ)
- ②姉歯事件は別件逮捕。単独犯の色合いが強い(悪いヤツはだれだ！)
- ③鳥インフルエンザ。5億人死亡か。(危ないこと、不安はニュース)
- ④抗うつ薬で自殺増加。米国では否定。(不安は警告でよいニュース)
- ⑤BSE。米国から圧力、消費者不信。(公表せず、圧力は悪)
- ⑥三井住友・大和証券統合。いまだに統合せず。(修正がない)
- ⑦柏崎原発。震度報告せず、した、どっち？。実は7月末に発表(真実検証)
◆リスクに関するニュースは、リスクの大きさでは決まらない。
別図を参照。「危ない」がどうしても増幅される仕組みになっている。
- ⑧BSEの全頭検査。当時の記事で「これでやっと安心」の談話。
知事は「検査した結果、陰性です。安心して食べてください」
当時の論調は、一次検査と2次検査の判定、検査態勢の不備などが論点。
「全頭検査で安心」はメディアと行政、消費者団体が作り出した神話。
▽食肉処理場で担当者が「危険部位の除去を忘れて、検査しているから」には唖然
▽不思議なのは、ピッキングがあっても、国産牛肉の問題を追及した消費者団体が
いないこと。「国産は絶対に安全」という団体もあった。
- ⑨どうすれば正確な情報が入手できるか。リスク情報機関があればよい。

⑩10億分の1の確率をどう見るか。

- ◇私が10億分の1になつたらどうするのか
- ◇人の命をどう思っているのか
- ◇たとえ10億分の1でも、お金を出して対策をとるべきだ
- ◇水道水の基準は10万人～100万人に1人は、がんになつても許容するリスク。
- ◇3000億円で何ができるか。もっと命が救えるはず。難病や不妊治療など
- ◇農薬の残留基準はなぜ、すべて0.01ppmにならないか
- ◇砂防ダムを完璧につくれば、500年に1度の洪水に対処できるのに、なぜ
500年耐用のダムができないのか
- ◇規制を強めると、生産者の負担が増える。鳥インフル、BSEでは生産者が死亡
※消費者のリスクか生産者か。カット野菜で夜間に働き女性たちの健康リスクは
どうなるの？
※ピッキングでも処理場の人のリスクが高いなら許されるか
- ◇お金を段々と使っていくと、徐々にリスクを減らす効果は下がっていく。
01年当時の100億円と、いまの100億円の効果は違う、もっと別のリスクの
高い分野に100億円を使う方が合理的(これは国、集合的な意味の政策、個人で
避けたい人は避ければよい)。
- ★もっと経済学的な議論が必要なのでは。

最悪のシナリオ「人類の半数が感染 死者5億人」

20世紀以降の主なインフルエンザ



1 ▼葉の副作用は惑。副作用の増加は問題。使用者への配慮なし。
▼だれのために有益な情報か。
▼トクダネ意識。警告するのは記者の使命。
▼母数と彼の関係には触れない。大言な扱いにならぬ。

新型インフルエンザ 大流行は

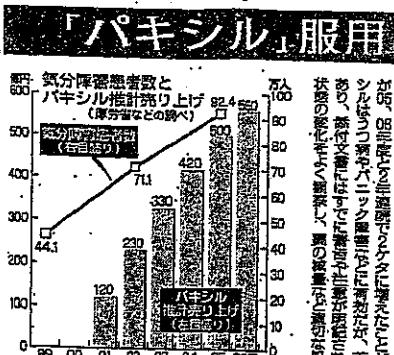
★WHITE

シフルエンザが発生した。人間の感染死亡例は少ないが、専門家はウイルスが蔓延して人間に感染する可能性を高め、さらに人間から人間への感染が起るといふ

鳥→ヒト型変異

「人口の半数が感染する。死者は1000人以上に達する。社会崩壊の危機だ」

この為後の今、そのシ
ナリオが現実味を帯び始
めている。今回の原因ウ
イルスは香港同タイプ
のH5N1。世界保健機
関(WHO)はベトナム、
での人間への感染を踏ま
え、「人類の健康にどう
して重要な疾患があり、詳
しく述べる必要だ」との
聲明を出した。感染症の
動向を監視していくの感染
研究の活躍は、感染症情
報センター長も「新型が
出現する可能性は高まり
ている」と指摘する。



副作用の疑い
096/2
0605年度 1511件
ナトリウムは世界で最も
広く使われる食品添加物で、
主に防腐剤、調味料、風味料
などの機能性食品で使われる。
ナトリウムは、主にソルト、
ナトリウム塩、ナトリウム
炭酸水素ナトリウム、ナトリウム
クエン酸、ナトリウムシクロヘキ
サニカル等の形で使われる。
ナトリウムは、主にソルト、
ナトリウム塩、ナトリウム
炭酸水素ナトリウム、ナトリウム
クエン酸、ナトリウムシクロヘキ
サニカル等の形で使われる。

抗うつ剤で自殺増加

インフルエンザ「H1N1」が人間に感染し、18歳以下の危険性は高まり、人由6人が死亡した。田代さんと接触した人間はいたる。出発する。

牛肉問題 米産 再び 消費者の不信 緩和協議に影響必至

增加

10日以上公表せず

厚勞・農水省「事実把握優先」と
厚生労働省と農林水産省は公表していません。
農業問題を抱える方へお問い合わせください。
農業問題を正確に把握するための
「事実把握優先」

4

5

電機波火災を防ぐ

6/18 國際指針が 小兒白血病と関連指摘
電子レーダー化装置による超低周波電磁波の人体影響について世界保健機関(WHO)が「小兒白血病発生率との関連性を否定できない」として、各國に文部省の建議など予防的措置を取るよう求めた。この勧告は、WHOの監査委員会から「質問平均二〇・三一・四六(アモルガム充填物)」の研究結果を支持する。
WHOは、具体的な規制は示さなかったものの、日本や米国などの多くの日本や西欧の専門家によれば、電波と健康被害の直接的な因果関係は認められてきた。

と結論づけた。
経済学者は今
までを設置して半
年の検討を始めた。宇
喜田の個人影響
した報道がない日
間を追われる。

トヨヒサ 126
・01-0-1
新規未登録
新規登録登録
新規登録登録

距離で〇 外れひ〇外れ超え。ル
五計す なひ〇外れ超え。
波レバル〇外れ超え。
地を外れ たれ〇外れ超え。各圖
定の距離 五〇外れ超え。
算を算じ かね〇外れ超え。
一九〇〇年

取材・確認
番組内で
は十七日、四月
に放送した情報
イイ番組「なか

「おもてなしで貴賓室」で
当番者に挨拶や、専用
禮儀作はしておもてなし
だながからり、配慮が足
りなかつたとして看護課
で論罪した。

三井住友・大和証券 統合へ

05 3/10

卷之三

銀行・証券
大手初の融資

来年度実現めざす

卷之三

伊
蘇
黎

上場廃止へ

東証での上場廃止券

CO₂吸收量と酸素供給量

気室上部は、2000年以降、地盤計で計測したデータから計算するものの方に改めた。この計測震度を10段階に分けて「震度1」と「震度2」表へ替わったのが「震度7」。^{6)・7)}この表は、5以上が最高取扱いの震度7」とある。東電は、地盤の揺れを観測できた時の地震計データを処理し、「月末に震度を算出した」。一号機の地盤観測小屋で震度7が接したサーブホールが強（同6・1）だった。計測震度導入後、震度7が震度7を観測したのは、2004年の新潟県中越地震時のことだ。町（計測震度7）⁸⁾だけ。同月作成の震度被害状況の目録によると、震度7は「人間は迷惑され、ほとんどの自然の震度志で行動できなくなる。耐震性の高い建物でも傾いたり大破する」とある。

新潟県中越沖地震の 東京電力柏崎刈羽 発(柏崎市刈羽村) の地震計で、阪神大 震災と同じ「震度7」	
中越沖地震	東電、一般公表せず
予測震度には含まれない	計測震度6・5以上だ
予ったが、震度7発	と震度7・6・0～6
表の最大震度は柏崎市	・4強～5・5弱
なんのひの強だった。	5・0のは6弱もある。
震度7は近畿が起き	計測震度6～7後は震度
るが、同士や西日本	7を上回るところが、4

新潟県中越沖地震の 原発(柏崎市刈羽村) 内の地震計で、坂神大 震災と同じ「震度7」 を記録したことが24 日、分かった。東電は 国や真面目にしたが、 一般への公表をしてい なかつた。気象庁の公 式記録には含まれない データだが、気象庁発 表の最大震度は柏崎市 などの6強だった。 気象庁は地震が起き るごとに、同市や自治体の 地震計で記録した揺れ の加速度から計測震度 を算出し、10段階に分 けて震度を公表する。
震度7を記録したのは、04 年の新潟県中越地震で の川口町しかなく、 東電によると、7月 末ごろ、地盤付近の揺
計測震度6・5以上だ と震度7、6・0～6 と震度7、5・5～6 と震度7、5・0～5 と震度7とする。 計測震度導入後に震度 7を記録したのは、04
年の新潟県中越地震で の川口町しかなく、 東電によると、7月 末ごろ、地盤付近の揺

中越沖地震 東電、一般公表せず

機の地盤緩衝小屋で計測震度は6・5、度7)だった。5年は0・00(強)で、部のサースホール

「田の新潟県中越地震震度の際、東京電力の柏崎刈羽原子力発電所敷地内、阪神大震災級の「震度7」の揺れが観測されていた」とがわかった。気象庁がこの地震で観測した最大震度「6強」を上回る強烈な直撃であったことがわかった。

機の地震観測小屋は6強
測して、いた震度
東京震度が
(計測震度6.5)、5度
司6・3)、発電所に
市西山町
本所
震度6強

 1号機地震 観測小屋 震度7	 刈羽村役場 震度6強
 柏崎刈羽 原子力発電所 震度6強	 柏崎市役所 震度6強
 東電本社 震度6強	 東電は、地震の波形や 大加速度などのデータは などに報告したが、震度 伝えてねえ。記者を見 て言及していない。「あ とある。同原発では今のと ころ、原子炉本体の深刻な の安全性評価には無関係 が、発電タービンの保護 士の接触点で約310℃。 件のトラブルが報告され いる。

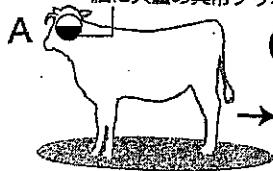
「 値を回復してやるといふ。」

中越沖地震

柏崎原発では「震度7」

L 87
12/24

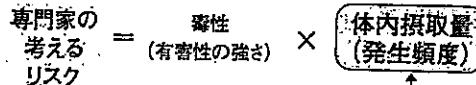
脳に大量の異常プリオントンが蓄積



4頭ともBSE感染牛

検査で
感染判明 → 出荷停止

専門家とメディアのリスク観の違い



メディアの
考える
リスク

= 毒性 × 体内摂取量 ×

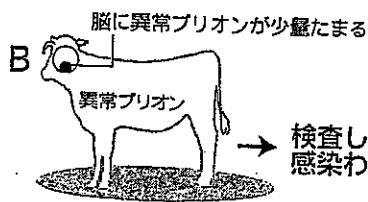
↑

ここを重視 →

ニユースの特質

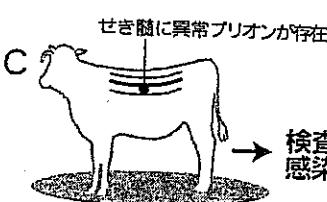
- 企業の情報隠し
- 行政不信、公表の遅れ
- 政策決定への不参加
- 米国からの圧力
- 広報対応のお粗末
- 新しい毒性
- 巨大企業の支配
- 自殺的カリスマ性

ポイント メディアはニュース性(ニュースの特質)を重視しながらリスクに関する情報を流すため、客観的なりスクを伝えないケースが目立つ。



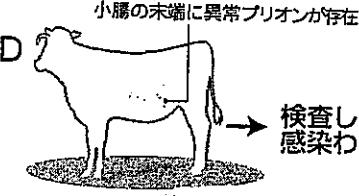
脳に異常ブリオンが小脳たまご

→ 検査しても
感染わからず → 出荷



せき隨に異常アリなし

→ 検査しても
感染わからず → 出荷



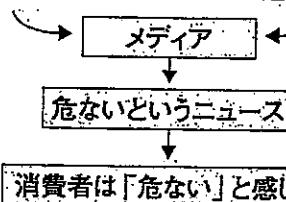
小腸の末端に異常プリオンが存在

→ 検査しても
感染わからず → 出荷

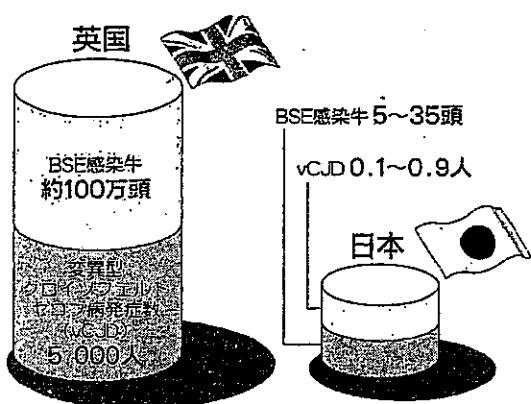
メディア情報の伝わり方はリスクを増幅する

99人の学者が
安全と主張

1人の学者が 危険と主張



消費者は「危ない」と感じる



ポイント メディアは危ないという情報を強調して流すため、専門家や行政の意図とは異なるリスク情報が消費者に届く。

リスク情報チェック機関のしくみ

